

単元名	北アメリカ州 －多くの人を引きつける地域－
-----	-------------------------------------

1 単元のねらい

アメリカで農業だけでなく工業が発達している地域について、その地理的特徴などを把握し、なぜその地域で発展しているのか考えることができる。また、アメリカの工業が世界の他の国々や、日本との深いかかわりがあることが分かる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、地域によって異なる産業と経済などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的知識を身に付けている。 ・アメリカ合衆国の産業の特色を、主題図や写真など様々な資料を関連付けて読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の産業が発達している様子について、アメリカ合衆国の農業や工業、生活・文化の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに進んで取り組み、北アメリカ州の地域的特色を捉えることができる。 ・北アメリカ州の地域的特色について概観する中で、特にアメリカ合衆国の産業に関心を持ち、単元の課題に対して主体的に追究しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5 単元のまとめ
知識・技能	●	○		●	
思考・判断・表現			○		○
主体的に学習に取り組む態度	●				○

3 単元構造図（全5時間） ☆獲得する認識

単元名

北アメリカ州
ー盛んな農業や
工業の特色ー

単元学習前の生徒の認識

北アメリカ州は資源が豊富な国で、文化や生活の面で日本の身近なものに密着している。様々な面で世界をリードしているアメリカ合衆国はどんな産業が盛んで、どんな生活の特色があるのだろうか。

第1時 北アメリカ州をながめて

【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

アメリカ合衆国はどのような国なのだろう。

○ハリケーン ○先住民 ○移民 ○北米自由貿易協定(NAFTA) ○ヒスパニック

アメリカは、スポーツや工業、農業の面でも世界トップクラスである。これは国土の広さや人口の多さに関連しているのだろうか。なぜアメリカ合衆国は、世界をリードし、世界中に大きな影響を与えることができるのか秘密を探っていきたい。

なぜアメリカ合衆国は世界の中心となる経済大国なのだろう。

第2時 巨大な農業生産力と移民

【○知識・技能】

アメリカが最大の農業国なのはなぜだろう。

○適地適作 ○企業的な農業 ○バイオテクノロジー ○プランテーション

アメリカでは、広大な土地で大型の機械を使い、少ない労働力で多くの利益を得る企業的な農業を行っている。また、フィードロットやセンターピボット方式など、各地域で地形や気候に適した農業を行っているのだ。

第3時 巨大な工業生産力

【○思考・判断・表現】

アメリカが最大の工業国なのはなぜだろう。

○ICT(情報通信技術) ○サンベルト ○シリコンバレー

国土の広さや自然条件に恵まれたことだけではなく、国土に多くの資源をもつことが、アメリカの工業を支えている大きな要因だ。五大湖の水運や南側の地下資源が工業を発展させ、最先端産業を創り上げたのだ。

第4時 新しい産業と生活文化

【●知識・技能】

アメリカの文化は、世界にどのような影響を与えているのだろうか。

○ICT(情報通信技術)産業

アメリカ合衆国の衣服、食事、映画、音楽などは、現在の日本人にとって身近なものになっている。産業と同じように、世界に対する影響力が大きくなっている。様々な文化が入り混じっているためからこそ、多様な文化を生んでいるが、移民や労働力不足などの問題も起こっている。

第5時 まとめの学習 北アメリカ州の学習をまとめよう

【○主体的に学習に取り組む態度 ○思考・判断・表現】

アメリカ合衆国が世界の中心となる経済大国である理由をまとめよう。

単元学習後の生徒の認識

アメリカ合衆国は、豊富な資源があったり、広大な土地や気候の特色に合わせたりした産業を行っているからこそ、発展し続け、世界最大の農業国や工業国になったことが分かった。夢を求めたり、常に新しいことに挑戦したりしているアメリカ合衆国だから、移民が集まり、世界をリードできる国になったのだな。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	資料および留意点
1 北アメリカ州をながめて	<p>アメリカは、経済、文化などにおいて、世界の先進的存在であることを理解し、学習の見通しをもつとともに単元を貫く課題を設定し、追究意欲をもつことができる。</p> <p>☆ハリケーン ☆先住民 ☆移民 ☆北米自由貿易協定(NAFTA) ☆ヒスパニック</p>	<p>1 アメリカについて、知っていることを交流し課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球やアメフトが盛んである。 ・マクドナルドやコカコーラなどの世界的な大企業が集まっている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">アメリカ合衆国はどのような国なのだろう。</p> <p>2 アメリカ合衆国の特徴を各種世界ランキングからつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土面積や人口、農業生産額、工業生産額において世界中で上位を占めている。 ・日本にとって大切な貿易相手国でもあることが分かる。 <p>3 アメリカ合衆国の様子を写真でとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広大な土地が広がっているのだから、農業をするのに適しているのだから。 ・飛行機などの先端技術が導入されていて、世界のトップクラスの技術力がある。 <p>4 アメリカの様子から単元を貫く課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業や工業において世界のトップクラスであるのはなぜだろう。 ・トップクラスの技術力の他にどのようなことでも世界をリードしているのだから。 <p>《単元を貫く課題》</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">なぜアメリカ合衆国は世界の中心となる経済大国なのだろう。</p> <p>アメリカは、スポーツや工業、農業の面でも世界トップクラスである。これは国土の広さや人口の多さに関連しているのだからか。なぜアメリカ合衆国は、世界をリードし、世界中に大きな影響を与えることができるのか秘密を探っていきたい。</p>	<p>アメリカ合衆国の巨大な国力に関心を持ち、追究しようとしている。</p> <p>態度＝交流の様子 知識＝写真資料の読み取り</p>	<p>◇アメリカ州の地図 ◇世界国勢図絵 ◇北アメリカの降水量 ◇ロッキー山脈の写真 ◇世界の農業生産額と工業生産額の国別割合 ◇世界の国別 GDP のグラフ ◇アメリカ合衆国への移民の出身州別人口の変化</p> <p>アメリカ合衆国の生産額や人口に着目させ、他国と比較して考察し、世界で先進的な存在であることを捉えることができるようにする。</p>
2 巨大な農業生産力と移民	<p>農業生産物が世界のトップクラスであることに着目し、自然環境を生かしながら企業化された大規模農業を行うことで、世界最大の農業国になったことを理解することができる。</p> <p>☆適地適作 ☆企業的な農業 ☆バイオテクノロジー ☆プランテーション</p>	<p>1 農畜産物の生産量の国別割合を見て、アメリカ合衆国の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆やとうもろこしなど、多くの作物が世界有数の生産国である。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">アメリカ合衆国が最大の農業国なのはなぜだろう。</p> <p>2 諸資料を活用し、自分の考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形と農業生産地を関わらせて考えると、西部は放牧、北部は酪農や小麦、南部は綿花など適地適作が行われている。 ・コンバインなど、大型の機械を使って、少ない労働力で企業的な農業を行っている。 ・フィードロットやセンターピボット方式のかんがい農法など、地形や自然条件に合った農業を行っている。 ・アメリカの農業生産物は、世界の多くの国に輸出されているのだ。 <p>3 農業は地形や気候と深く結びつき、その地域的特色を生かして生産していることを交流し、本時のまとめをする。</p> <p>アメリカでは、広大な土地で大型の機械を使い、少ない労働力で多くの利益を得る企業的な農業を行っている。また、フィードロットやセンターピボット方式など、各地域で地形や気候に適した農業を行っているのだ。</p>	<p>アメリカの農業の特色を、気候や地形と関連付けて、資料から読み取っている。</p> <p>知識＝資料活用の様子</p>	<p>◇センターピボット方式の大規模なかんがい農業 ◇主な農産物・畜産物の生産量と輸出入の国別割合 ◇アメリカ・カナダの農業地域 ◇フィードロットの写真 ◇主な国の農業経営(地図帳)</p> <p>アメリカは広大な土地の中でいくつかの区分に分けられて農業が行われていることを気候区分や地形と関連付けて読み取ることができるようにする。</p>

<p>3 巨大な工業生産力</p>	<p>アメリカの工業が、最大の工業国となっている要因を追究することを通して、豊かな資源、新たな工業や最先端技術を取り入れていることなどが結びついており、工業を中心とした産業が盛んになっていることが分かる。</p> <p>★ICT (情報通信技術) ★サンベルト ★シリコンバレー</p>	<p>1 「鉍工業製品のおもな生産国」の資料を活用し、本時の課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車やコンピューターなどの生産でアメリカは世界をリードしている。 パルプやプラスチックの生産では、アメリカが2割近くを占めている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アメリカ合衆国が最大の工業国なのはなぜだろう。</p> <p>2 課題に対しての考えをまとめ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> アパラチア炭田やメキシコ湾岸の油田、メサビ鉄山の鉄鉍石など、資源が豊富な地域で工業が発展した。 オートメーションの導入など、進んだ技術が世界最大の工業国への理由なのだろう。 多国籍企業が多いため巨大な資本がある。 <p>3 機械や鉄鋼が占める割合の低下を資料から読み取り、新しい工業の発展について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 五大湖周辺では、水運を結んでさらに工業を発展させた。 サンベルトでの、ハイテク産業や情報技術産業が発展してきた。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国土の広さや自然条件に恵まれたことだけではなく、国土に多くの資源をもつことが、アメリカの工業を支えている大きな要因だ。近年は、土地や資源に加え、温暖で、研究機関が集まっている南部で最先端の工業が発展しているのだ。</p>	<p>アメリカ合衆国の工業地域が発達している理由を、資源面、交通面などを結び付け、多面的・多角的に考察し、その過程を適切に表現している。</p> <p>思考＝考察の様子</p>	<p>◇ピッツバーグの変化の写真 ◇航空機の組立工場 ◇鉍工業製品のおもな生産国(資) ◇太陽探査機の開発の写真 ◇アメリカ、カナダの鉍工業地域 ◇アメリカの別工業生産額の地域別割合の変化</p> <p>工業地域と資源の分布図を比較させたり、関連付けたりして考察することができるようにする。また、工業地域ごとの生産額の推移の資料に目を向けることができるようにする。</p>
<p>4 新しい産業と生活文化</p>	<p>アメリカ合衆国の生活や文化の特色を調べることを通して、自由で新しい文化を創り上げ、世界中に広がっていることが分かる。</p> <p>★ICT 産業 ★ヒスパニック</p>	<p>1 自分たちが知っているアメリカの文化や生活について思い浮かべるものを交流し、本時の課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンバーガーやジーンズなど自分達の生活の身近なものが多い。 映画や音楽はアメリカ発祥のものが多い。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アメリカの文化は、世界にどのような影響を与えているのだろう。</p> <p>2 課題に対しての考えをまとめ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツや映画、音楽などが生まれていて、日本にもたらされたものが多い。 ファストフードが各地に広がり、食生活の地域差がうすれてきた。 自由の女神のように、学校生活でも、服装や生活スタイルが自由で魅力的である。 <p>3 アメリカ合衆国での生活や文化におけるよさや課題を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由であっても、銃を持てる国なので危険だ。犯罪も多く起こるのも無理はない。 産業生産額も多く、豊かである反面、貧富の差が生まれているのではないか。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アメリカ合衆国の衣服、食事、映画、音楽などは、現在の日本人にとって身近なものになっている。産業と同じように、世界に対する影響力が大きくなっている。様々な文化が入り混じっているためからこそ、多様な文化を生んでいるが、移民や労働力不足などの問題も起こっている。</p>	<p>アメリカ合衆国の生活や文化の特色をつかみ、理解している。</p> <p>知識＝課題に対するまとめ</p>	<p>◇タイムズスクエアの写真 ◇シリコンバレーの写真 ◇シリコンバレーにある主な企業の社員構成 ◇州別に見たアメリカの人口構成 ◇郊外にある大型ショッピングセンターの写真</p> <p>身近な生活の中にあるアメリカ合衆国の文化に着目し、日本と比較して考察することができるようにする。</p>

<p>5 北アメリカ州の学習をまとめよう</p>	<p>学習内容の振り返りを思考ツールを活用してまとめる活動を通して、北アメリカ州の地域的特色を多面的・多角的にとらえ、主体的に単元のまとめをすることができる。</p>	<p>1 これまでの学習を振り返り、思考ツールのマトリックス表を確認して課題化する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>アメリカ合衆国が世界の中心となる経済大国である理由をまとめよう。</p> </div> <p>2 学習班でマトリックス表を作成する。</p> <p>3 作成した表を全体交流で発表し合い、自分たちの表になかった内容があれば書き加える。</p> <p>4 単元を貫く課題について自分の考えをまとめる。</p>	<p>これまで学習してきたことを多面的・多角的に考察しながら、マトリックス表にまとめる活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>態度＝発表の様子 思考＝マトリックス表</p>	<p>◇アメリカ合衆国が農業面、工業面、文化面のそれぞれで世界をリードしている理由を記入するマトリックス表</p>
	<p>アメリカ合衆国には、広大な土地があり、地域によって気温や降水量も異なるため、それぞれの環境に適した農作物を栽培している。また、少ない労働力で広い面積を経営する企業的な農業がおこなわれており、新種の開発や食品加工技術も世界の最先端である。工業においても、航空宇宙産業や ICT 産業が発達しており、世界をリードしていることが分かった。そうした、アメリカの産業は貿易や移民などによって世界に発信され、それと同時にアメリカの生活文化が海外に大きな影響を与えていることが分かった。こうした様々な面で最先端を進んでいるからこそ、世界の中心を担う経済大国であり続けられているのだと考えた。</p>			